
【任意】番号方式による「分散保管」の方法

(より慎重に備えたい方向け)

※このページは 必須ではありません。
「家族が困らない」ことを最優先にしつつ、
盗難・紛失時のリスクも下げたい方だけが選ぶ方法です。

番号方式とは？

口座の情報と、スマホの解除情報(またはパスワード)を
別々の紙に分けて保管する方法です。

- 一方だけ見ても意味が分からない
- 両方がそろったときに、はじめて役に立つ

という仕組みです。

用意するもの(2つ)

A: 口座一覧シート(家族が先に見る)

- 銀行・証券などの 存在と連絡先だけを書く紙
- パスワードは 一切書かない

B: 解除情報カード(秘密)

- 番号と解除情報だけを書く紙
 - 普段は見えないように保管する
-

手順1: 口座一覧に「番号」を振る

口座一覧(本体)の左端に、番号またはタグを付けます。

番号	サービス名	種類	公式連絡先	メモ
①	楽天銀行	普通預金	公式サイト	給与振込
②	SBI証券	NISA	公式サイト	2024年開始

※ 並び替えても混乱しないよう、
RB-01 / SBI-01 など簡単なタグでも構いません。

手順2: 解除情報カードを作る(スクラッチ方式)

別の紙(名刺サイズなど)に、次のように書きます。

番号: ①

解除情報: スマホ暗証番号 * * * *

保管ルール(重要)

- 上から 修正テープを2~3回重ねて隠す
 - スクラッチカードのようにする
 - 普段は読めない状態にする
-

手順3: 保管場所を分ける

- 口座一覧(A)
→ 通帳や重要書類と同じ場所
- 解除情報カード(B)
→ 別の引き出し・金庫・封筒など

※ 同じ場所に置くと分散になりません

家族に伝えておくこと(必須)

最低限、次の1行だけで構いません。

「銀行の一覧は○○にある。
解除情報は別の場所にある。
勝手にログインせず、まず公式窓口に相談して。」

注意点(必ず読んでください)

- この方法でも **100%**安全ではありません
- 番号を振り直した場合は、必ず両方を更新してください
- 家族が理解できないほど複雑にしないでください

👉 複雑すぎる仕組みは、かえって家族を困らせます

この方法を選ぶかどうかの目安

- ✓ 家族がITにある程度慣れている
- ✓ 書類の管理・更新が苦にならない
- ✓ 「念のため、もう一段安全にしたい」

→ こうした場合にのみ、おすすめします。

まとめ

- 基本は「存在＋連絡先」で十分
 - 番号方式は 任意の追加安全策
 - 目的は「守ること」より「困らせないこと」
-